

Contents

特集

過労死等研究の現在地

——10年間の成果と今後の方向性

-
- 537 **はじめに**
高橋正也
-
- 538 **過労死等労災事案の経年的特徴**
佐々木 毅・吉川 徹
-
- 543 **過労死等としての脳・心臓疾患の実態とその発症メカニズム**
守田祐作
-
- 547 **過労死等としての精神障害・自殺の特徴**
高橋有記・山本賢司
-
- 553 **職場の特性に応じたテラーメイドの疲労対策の重要性**
—— 職場の疲労カウンセリング
久保智英
-
- 557 **過労死等防止調査研究センター実験研究の成果**
劉 欣欣・他
-
- 561 **過労死等防止調査研究センター対策実装研究チームの成果**
石井賢治・他
-
- 567 **地方公務員における過労死等の現状と課題**
茂木伸之・吉川 徹
-
- 571 **産業医科大学ストレス関連疾患予防センターの取り組み**
船田 碧・他
-
- 575 **過労死等研究の今後の方向性**
高橋正也・吉川 徹



TOPICS

- 578 整形外科学
*Tric-b*遺伝子欠損による非典型的な成長板軟骨細胞死と
低身長
市村敦彦・竹島 浩
-
- 580 呼吸器内科学
抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に伴う間質性肺疾患における
新たな予後予測マーカーの開発 —— 血清インターフェロン- λ 3
藤澤朋幸

連載

- 583 自己指向性免疫学の新展開 —— 生体防御における自己認識の功罪②
免疫受容体が認識する代謝物リガンドの網羅的探索に向けた
解析システムの開発
富安範行・和泉自泰
-
- 588 細胞を用いた再生医療の現状と今後の展望 —— 臨床への展開⑩
間葉系幹細胞の免疫調整能を応用した難治性腎疾患治療
田中章仁・他
-
- 593 ケースから学ぶ臨床倫理推論①
応招義務
勝碯静香

FORUM

- 599 数理で理解する発がん②⑩(最終回)
発がんは体細胞の進化のプロセス
中林 潤
-
- 603 戦争と医学・医療⑫
藤田嗣章と日本の植民地医学
崔 圭鎮